

平成29年度  
全国、岡山県、瀬戸内市  
学力・学習状況調査結果の概要

○実施日 平成29年4月18日（火）

○調査概要



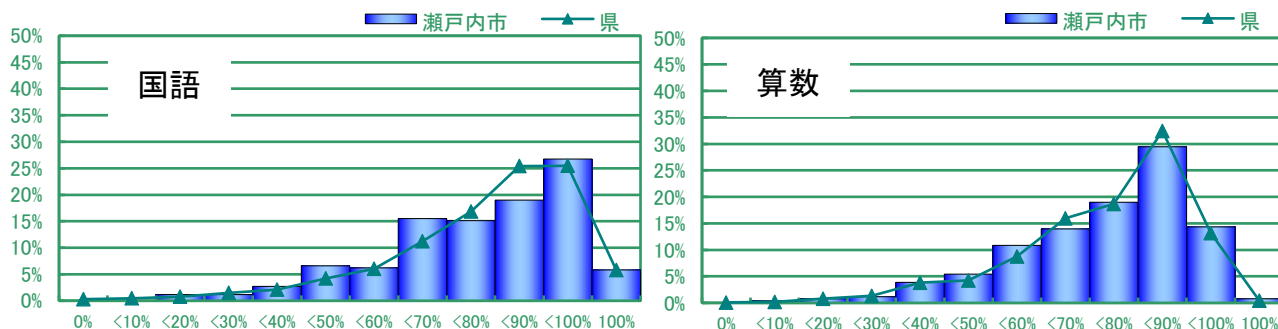
校種	学年	調査種類	実施調査
小学校	3年	岡山県	国語, 算数
	4年	岡山県	国語, 算数
	5年	岡山県	国語, 算数, 児童質問紙
	6年	全国	国語A, 国語B, 算数A, 算数B, 児童質問紙, 学校質問紙
中学校	1年	岡山県 瀬戸内市	国語, 数学, 生徒質問紙 社会, 理科
	2年	岡山県	国語, 数学, 生徒質問紙
	3年	全国	国語A, 国語B, 数学A, 数学B, 生徒質問紙, 学校質問紙

平成29年12月

瀬戸内市教育委員会

## 小学校第3学年 調査の概要（県調査）

### 学力調査の概要

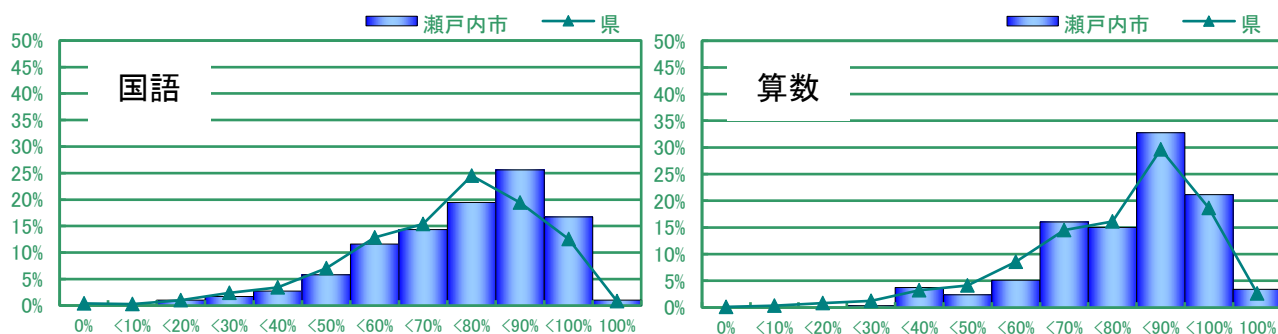


小3	国語			算数		
		基礎	活用		基礎	活用
瀬戸内市	75.8	79.1	62.3	72.8	77.8	47.8
岡山県	77.1	80.9	62.3	73.3	78.5	47.6
評価	≒	≒	≒	≒	≒	≒

※評価の記号は、目標値に対し、「△…上回っている」、「≒…同程度」、「▼…下回っている」を表す。

## 小学校第4学年 調査の概要（県調査）

### 学力調査の概要

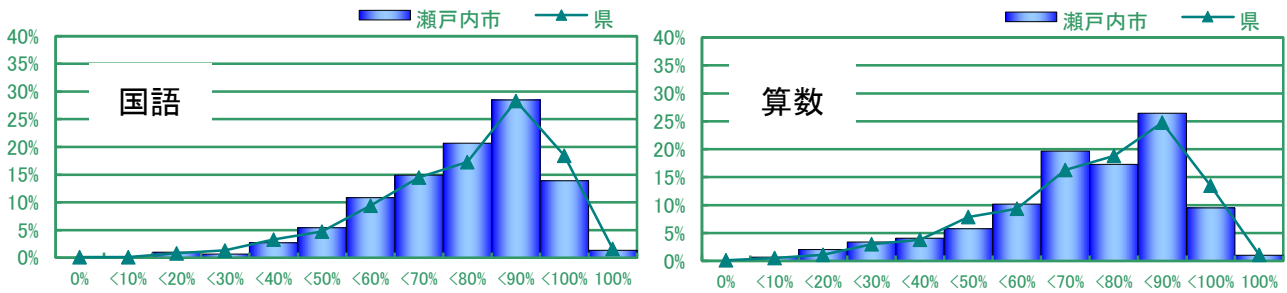


小4	国語			算数		
		基礎	活用		基礎	活用
瀬戸内市	73.2	75.7	62.4	78.3	81.1	66.8
岡山県	69.8	72.4	58.2	75.1	78.1	62.6
評価	△	△	△	△	△	△

※評価の記号は、目標値に対し、「△…上回っている」、「≒…同程度」、「▼…下回っている」を表す。

## 小学校第5学年 調査の概要（県調査）

### 学力調査の概要

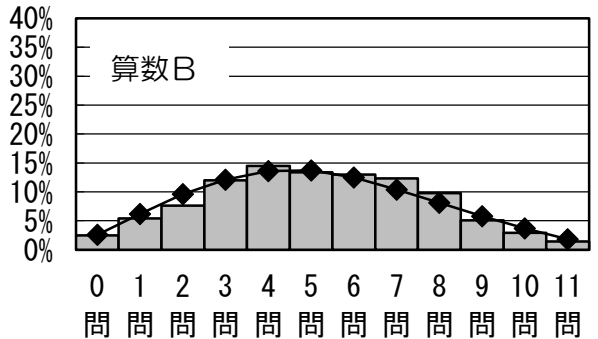
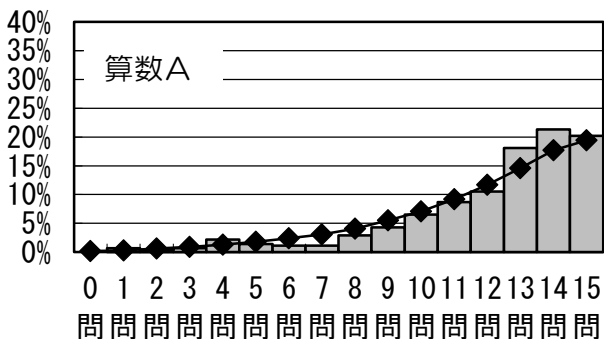
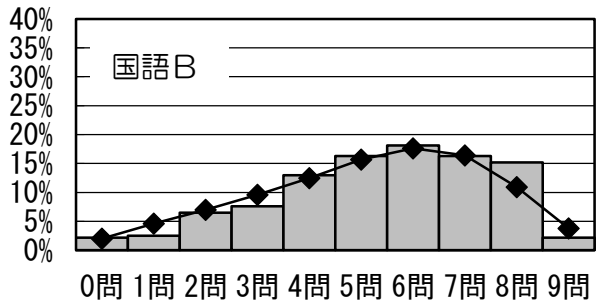
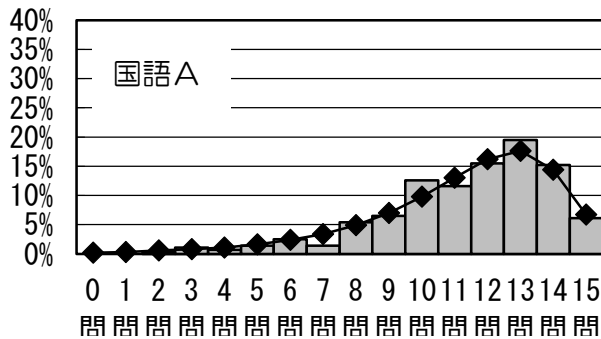


小5	国語		算数		
	基礎	活用	基礎	活用	
瀬戸内市	73.4	75.5	68.2	72.9	45.7
岡山県	74.4	76.1	69.8	74.0	49.5
評価	≒	≒	≒	≒	▼

※評価の記号は、目標値に対し、「△…上回っている」、「≒…同程度」、「▼…下回っている」を表す。

## 小学校第6学年 調査の概要（全国調査）

### 学力調査の概要

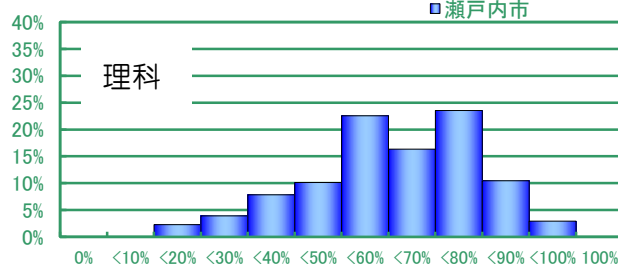
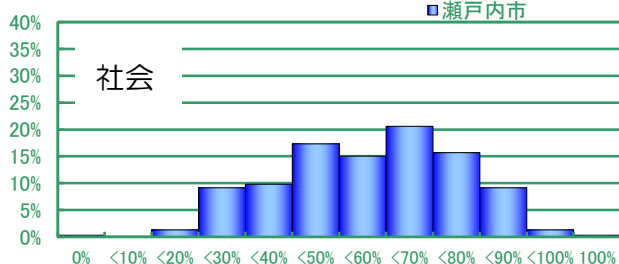
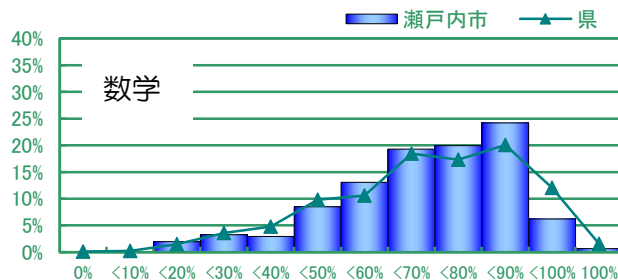
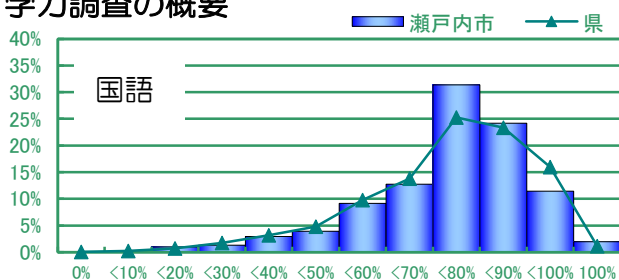


■ 瀬戸内市    ◆ 全国（公立）

	国語A	国語B	算数A	算数B
瀬戸内市	76	60	81	47
岡山県	75	58	79	46
全国	74.8	57.5	78.6	45.9

## 中学校第1学年 調査の概要（県・市調査）

### 学力調査の概要

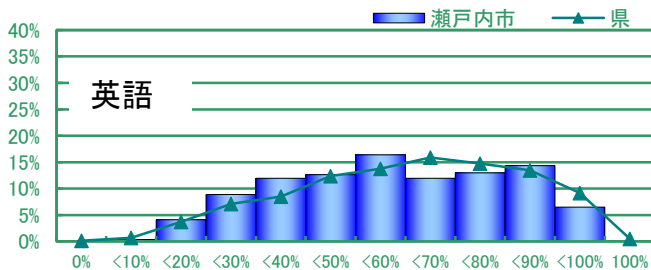
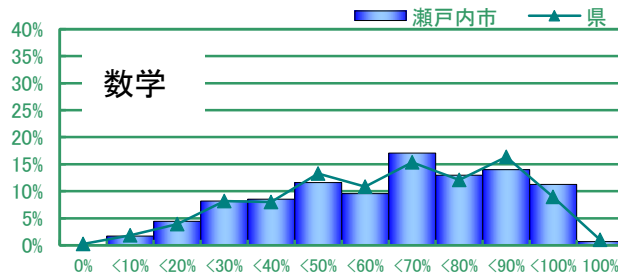
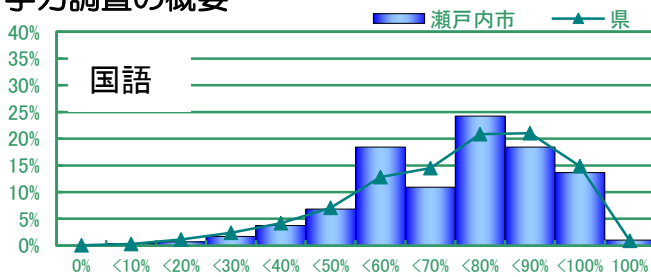


中1	国語			社会			数学			理科		
		基礎	活用		基礎	活用		基礎	活用		基礎	活用
瀬戸内市	73.5	74.6	69.3	56.8	58.5	48.5	67.1	69.6	57.3	60.7	62.2	56.1
岡山県(国・数) 全国(社・理)	73.3	73.9	71.1	58.6	60.4	50.0	67.4	69.8	57.8	61.1	61.7	59.2
評価	≒	≒	≒	≒	≒	≒	≒	≒	≒	≒	≒	≒

※評価の記号は、目標値に対し、「△…上回っている」、「≒…同程度」、「▼…下回っている」を表す。

## 中学校第2学年 調査の概要（県調査）

### 学力調査の概要

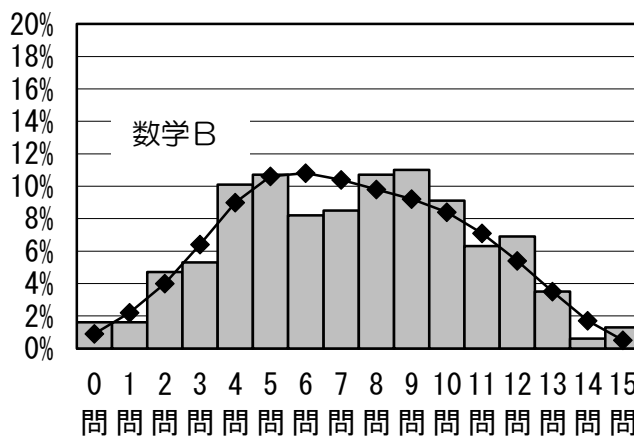
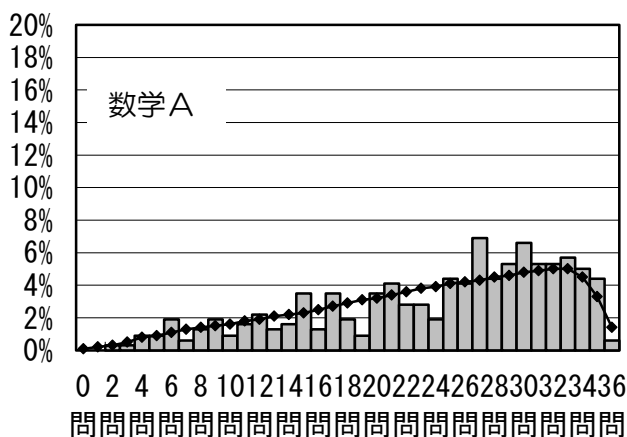
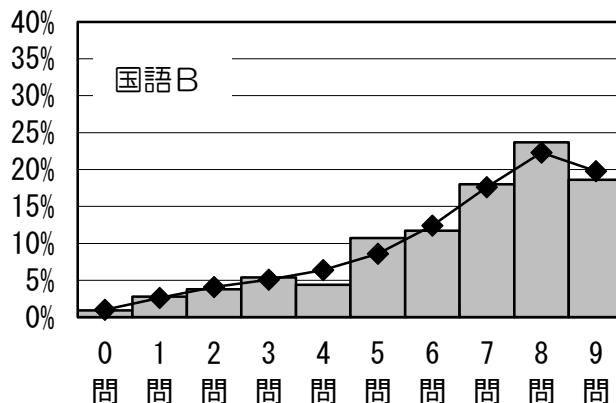
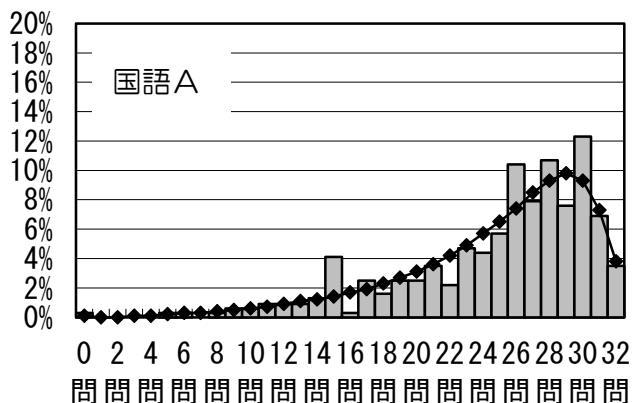


中2	国語			数学			英語		
		基礎	活用		基礎	活用		基礎	活用
瀬戸内市	70.1	73.8	56.7	59.5	61.6	49.3	56.8	60.6	47.1
岡山県	70.2	74.1	56.3	59.3	61.1	50.5	59.8	63.9	49.6
評価	≒	≒	≒	≒	≒	≒	▼	▼	≒

※評価の記号は、目標値に対し、「△…上回っている」、「≒…同程度」、「▼…下回っている」を表す。

## 中学校第3学年 調査の概要（全国調査）

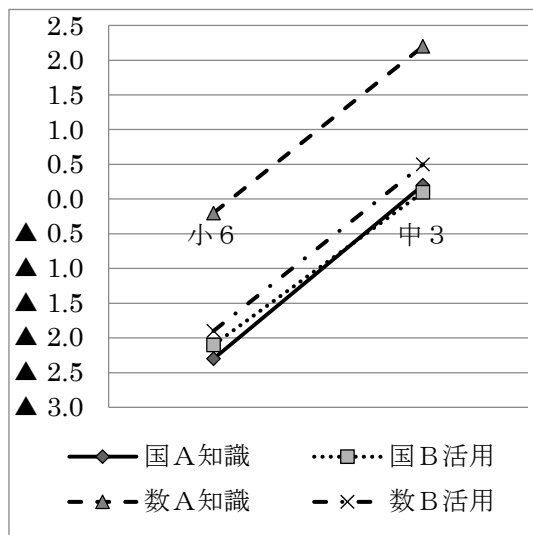
### 学力調査の概要



瀬戸内市
  全国(公立)

	国語A	国語B	数学A	数学B
瀬戸内市	78	72	67	49
岡山県	77	71	64	47
全国	77.4	72.2	64.6	48.1

### 同一集団の経年変化（H26年度小6→H29年度中3）



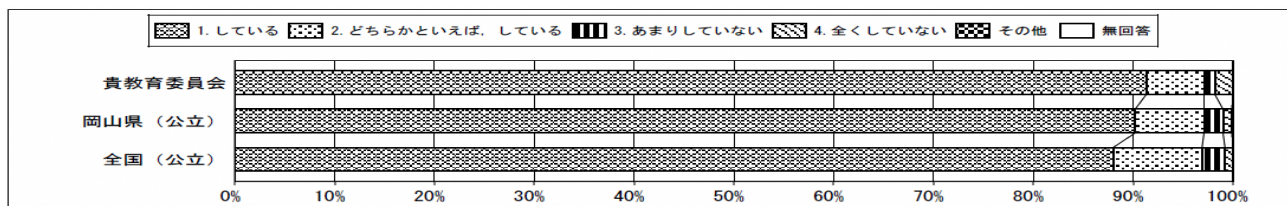
左のグラフは、全国と瀬戸内市の平均正答率の差について、平成29年度の中学校3年生が小学校6年生の時（平成26年度）とを比較したものです。

全ての学力調査において、正答率の伸びが見られます。中学校3年生で、全国平均正答率（0.0）を全て上回っていることは注目する点であり、基礎的な力だけでなく、学習した内容を活用する力も定着してきているといえます。子どもたちの学習意欲が向上していること、先生方の丁寧な学習指導が行われていることだけでなく、義務教育9年間を見据えた系統立てた学習指導等について、小中学校の連携が深まっていることによる成果が大きいと考えます。

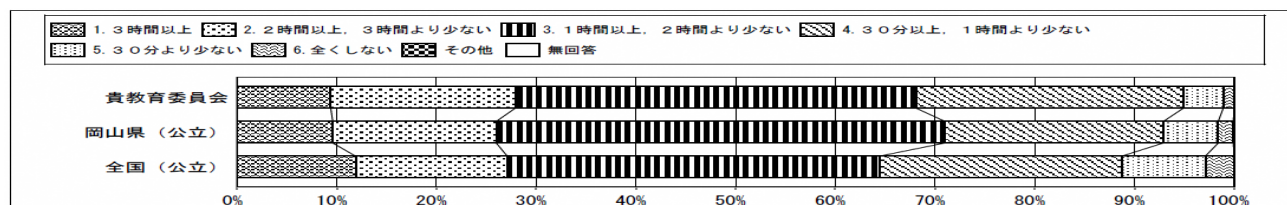
全国学力・学習状況調査 [児童生徒質問紙] より

★小学校（6年生）

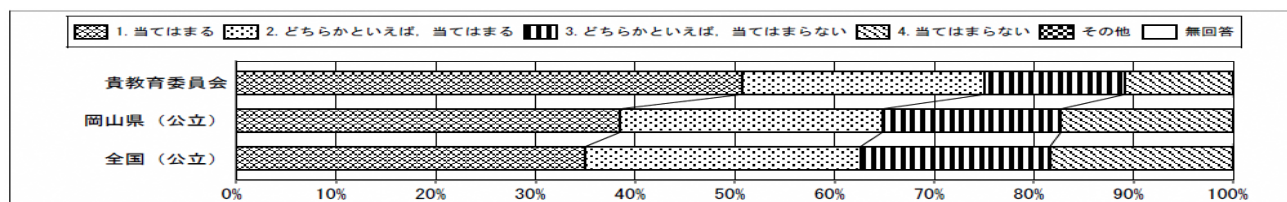
家で学校の宿題をしていますか



学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師の時間を含む）

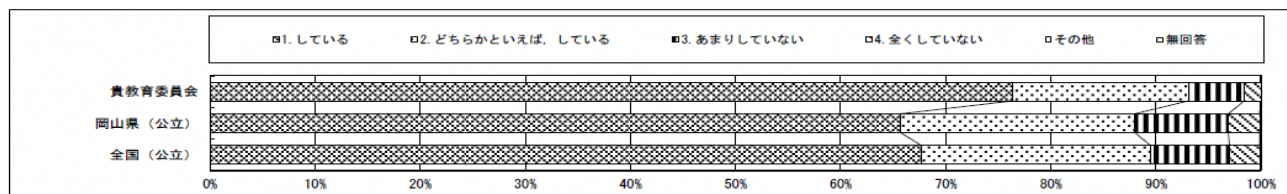


今住んでいる地域の行事に参加していますか

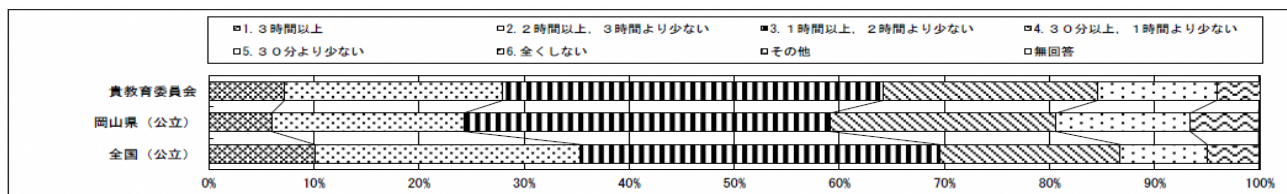


★中学校（3年生）

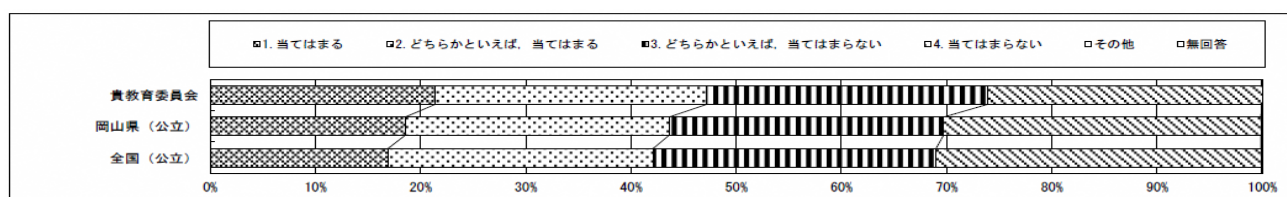
家で学校の宿題をしていますか



学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師の時間を含む）



今住んでいる地域の行事に参加していますか



家庭での学習時間は、全国、県と比べて高いとはいえません。一方で、中学3年生の調査では、「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」生徒の多くは、平日に1時間以上学習していると回答しています。（下表参照）

	計画している	どちらかといえば 計画している	どちらかといえば 計画していない	計画していない
1時間以上勉強している	78.9%	72.5%	55.7%	26.1%

このことから、家庭での学習時間は、宿題の量が多いか少ないかが問題ではなく、児童生徒が、帰宅後の過ごし方などの時間の計画を立てたり、自分で課題を決めて自主学習をするなどの学習の計画を立てたりする力をつけることで、増加すると考えられます。これらは、学校と家庭が連携して取り組むことが大切です。



授業においては、めあての提示について肯定的な回答は小学校85.8%、中学校95.3%と高い数値を示しています。この授業で何ができるようになればよいか「到達目標」を子どもたちが理解し、主体的に学びに取り組むことが、学力向上につながっていると考えられます。また、学習を振り返る活動を授業の中に組み込むことが定着しており、「岡山型学習指導のスタンダード」に基づいた授業実践が進んでいることが分かります。



地域行事への参加については、県、全国と比べて肯定的な回答が多く、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの健やかな成長を支えていることが分かります。